

井草会報

2022 N0.55

発行 井草会
練馬区上石神井2-2-43
東京都立井草高等学校内



会長挨拶

植木 謙
21回(昭和44年卒)D組

本年度の役員改選で、会長として再選(4期目)されました。
新型コロナウイルスについては、2020年1月から感染拡大が始まり、その後変異株が次から次へと出現し感染拡大3年目を迎えた現在も未だに終息の兆しは見えません。コロナ感染拡大が続く中、昨年は母校創立80周年という節目の年を迎えましたが、記念行事などは行われませんでした。

同窓会でも2年に1回の記念学年パーティが開催される年でしたが、パーティはもとより同期会、クラス会も開催できない状況でした。感染拡大が終息しない状況から、残念ですが本年度も同窓会活動は引続き自粛いたします。

大勢で集まることへの制約解除が難しい中、現在は会報発行並びに井草会ホームページ情報の更新だけが同窓会活動の中心になっています。限られた活動となっていますが、多くの同窓生の近況を会報発行とホームページ情報の更新で幅広く伝えていきたいと考えています。

つきましては、会報に同封しています『会員からの便り』とホームページのトップページにあります『会員からの便り』から近況やご意見をお寄せください。

今回の会報では、同窓生の皆様の居住分布について日本地図を使い都道府県別に人数紹介をしています。身近なところに同窓生がいることもあります。会報、井草会ホームページ情報から同窓生との意外な出会いがあるかもしれません。

個々人の草の根レベルから数多くの同窓生とのつながりを見つけ、井草会の絆を更に深めていくきっかけができれば幸いです。



着任の御挨拶

第24代校長
粕谷 真由美

今年度、東京都立井草高等学校の校長を拝命いたしました粕谷真由美と申します。平成5年に東京都の教員となり、その後平成24年度から9年間、東京都教育委員会事務局で教育行政に携わった後、1年間の副校長勤務を経て着任いたしました。

令和4年度入学式で迎えた第77期生には、本校で得る、「人との縁」を大切にしてほしいと伝えました。縁を得て、それを育み大切につなげている諸先輩たちと出会える井草会。生徒諸君は、いつかその価値に気が付き、会員として、後輩を支える立場になっていくのだろーと思ひます。

さて、今年度は高等学校にとって大きな変化の年となっております。新学習指導要領の段階的实施と観点別評価の導入、一人1台端末の導入や成人年齢18歳に伴う対応、スクール・ミッションに基づくスクール・ポリシーの策定・実施などが挙げられます。「知性と感性を磨き自らの健康を培いながら向上進取の精神で自己実現を目指す」教育理念のもと、真理を探究し、問題を解決する態度や責任を重んじて自主的に行動できる生徒を育てること。さらに、国際交流プログラムや異文化交流を通して国際人の育成に力を入れグローバルに活躍する人材を育成すること。これを本校のスクール・ミッションとし、教職員が一丸となって、日々の教育活動を実践していきます。井草会報や本校HPを通して母校の教育活動を御覧いただくとともに、今年度も後輩の充実した学校生活のための御支援をいただけますよう、お願いいたします。

井草会ホームページをご活用ください

<https://www.igusakai.org/>



目次

会長・新校長の挨拶	1	恩師からの便り	8
会員からの便り	2	井草高校NOW	9
同窓生の全国分布図	3	キャンパスニュース	10
各地からの便り	4~5	幹事総会報告	11
OB/OGインタビュー	6~7	井草会掲示板	12



会員からの便り

～昨年寄せられた、皆様からの
お便りをご紹介します～

＜昭和31年卒 8回B組 小坪(吉塚)栄子＞

令和3年1月に練馬区に転居、ちょっと足を伸ばすと井草高校は散歩コースです。すっかり立派に建て替えられた校舎は昔と同じに中庭を挟んで2棟が並び、校門横の掲示板には若き後輩達の活動が報告されています。井草高校で学んだこと、ここで得た素晴らしい先輩、友人、80歳を過ぎて何十年振りかで訪れた母校の前で、気持ちは高校時代に嬉しい逆戻りです。

＜昭和33年卒 10回F組 佐原 真＞

八重桜が咲く季節になるとあの懐かしき校歌が甦り、思い出に耽るのです。今にして思えば若き日の3年間はあっという間でありました。まことにハラハラと散っていく八重桜のようであります。ほんの一瞬、神の瞬きでしかありません。しかしその一瞬の中に数々の思い出が詰まっているのです。卒業後、思い出を共有する友たちは夫々与えられた道へと分かれていきました。ある友は社会人となり、またある友は進学を志し相応しい学窓へと旅立って行きました。いずれにしても人生、山あり、谷あり、砂漠あり、嵐あり、吹雪に見舞われることもあります。それでも日々の家庭生活を楽しく、喜びと希望を持って生きたいものです。

私は幼少期から健康に恵まれなかったためマイペースで生きられる道を選びました。若い頃からの憧れであり念願であった社会福祉、特に障害者福祉の分野へと方向が定められたのです。神の導きとして感謝して受け取りました。妻と共に50年間というものの全力投球してまいりました。今では齢を重ね82歳となり体力・筋力はすっかり衰えましたが、魂はいよいよ元気であります。朝に晩に聖書を読み、好きな読書と音楽、インターネットでの囲碁対戦に励んでおります。毎日が楽しく、喜びと希望に満たされています。「わが人生に悔いなし」であります。



＜昭和36年卒 13回A組 小島 真樹＞

恩師の福田薫先生の奥様、澄子様の訃報が届いた。105歳だった。福田先生は当時、定時制のかたわら全日制の講師をされ、2年生の1年間、現代国語を教わった。大学を卒業してやはり高校の教師になった私は、時々お宅にお邪魔して教育論をしたり、悩み事の相談にもものっていただいた。20年前のことになるが、久しぶりに訪ねた私に「もう心配なくていいのね!」と言われたことが忘れられない。

＜昭和36年卒 13回B組 早川 廣一＞

私は絵を描く事が大好きで即美術部に入りました。2年生の時には部長を任せられ、その年の部活運営費獲得委員会で他校との交流美術展示会や夏休み写生会等を企画し提示したところ、今迄の約3倍の予算を獲得致しました。大学進学の際、顧問の青山兵吉先生から芸大の洋画部へ進みなさいと太鼓判を押されましたが、3年の3学期に画家で売れなかったら生活に困ると進路を変え、私大から商社に勤めて一応安定した生活ができました。



＜昭和42年卒 19回I組 粕谷 巧＞

古希を迎えた3年前、私は母校に奉職した。思い起こせば55年も前、この同じ校門を毎日出入りしていたのかと思うと感無量である。勤務終了後、校門を出ると夕暮れの中に青春時代が目に浮かぶ。同窓の中には30歳にもならず病に倒れたり、離婚再婚を経てご苦労された方々もいる。一方私は健康と家族に恵まれ、息子や娘だけではなく孫までも授かり、社会の中での役割も未だ求められている、これを幸せというのだろうか。高校生活はたった3年間であるが、思春期の生徒たちにとっては死に物狂いの3年間となることもある。そんな後輩たちの一助になれることを願って仕事をしている。半世紀も生きてきた今でも、それが自分の心の中で大きな意味を持つのは私だけだろうか。

＜昭和49年卒 26回A組 高橋 康樹＞

一昨年新春に生まれて初めて俳句を詠んでみたいという気持ちが生まれ、そこから1年経過して句作心が動き出し、去年の末まで俳句を詠むことに没頭して、今年1月に俳句寄稿「三十三(みそみ)の継ぎ道」を出版しました。冒頭の句は「雲上に錦織りなす初日映え」、この句から私の俳句人生が始まりました。俳句活動としてはこの1年間ですが、十分に満足のできる句作活動でしたので、出版後はまたのんびりと車の回送の仕事を楽しんでいます。

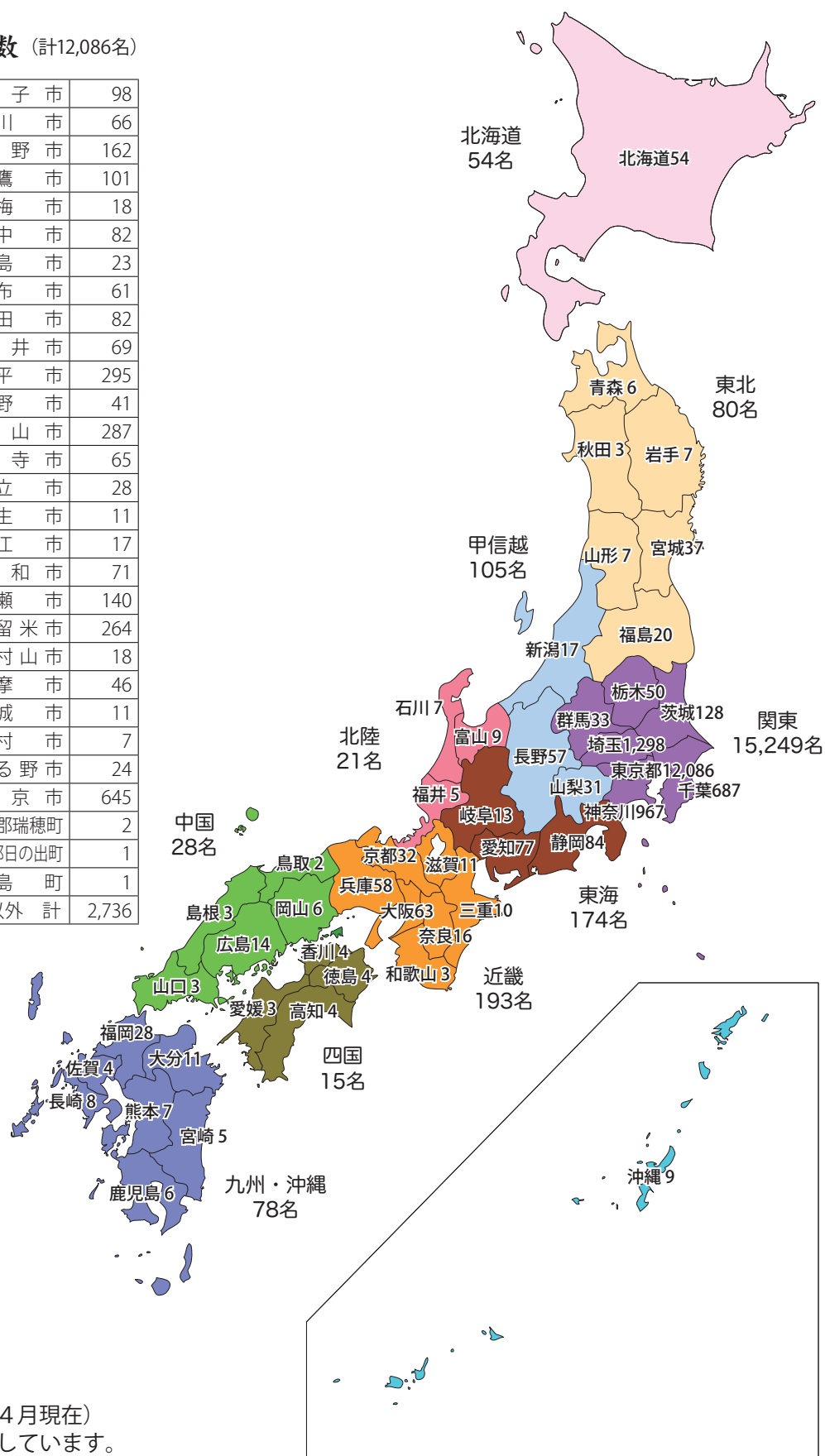
同窓生の全国分布図

～創立81年、同窓生は日本全国に広がっています。お住まいの地域で同窓生との思いがけない出会いがあるかもしれませんね！～

東京都会員分布数（計12,086名）

千代田区	13
中央区	27
港区	49
新宿区	223
文京区	63
台東区	20
墨田区	22
江東区	64
品川区	47
目黒区	51
大田区	85
世田谷区	215
渋谷区	49
中野区	1,040
杉並区	1,340
豊島区	112
北区	56
荒川区	29
板橋区	224
練馬区	5,505
足立区	37
葛飾区	31
江戸川区	48
23区計	9,350

八王子市	98
立川市	66
武蔵野市	162
三鷹市	101
青梅市	18
府中市	82
昭島市	23
調布市	61
町田市	82
小金井市	69
小平市	295
日野市	41
東村山市	287
国分寺市	65
国立市	28
福生市	11
狛江市	17
東大和市	71
清瀬市	140
東久留米市	264
武蔵村山市	18
多摩市	46
稲城市	11
羽村市	7
あきる野市	24
西東京市	645
西多摩郡瑞穂町	2
西多摩郡日の出町	1
大島町	1
23区以外計	2,736



全国計：15,997名（令和4年4月現在）
※会報の送付データより集計しています。



各地からの便り



～コロナ禍で旅行もままならない状況が長く続きました。会報では日本各地や海外にお住まいの会員の方々から現地の日常を寄稿していただきました。しばしの旅気分を味わってください！～

北海道札幌市 ～庭にキタキツネの足跡～

＜昭和34年卒 11回A組 上田 浩＞

30歳の時、妻の実家のある札幌に移り住んで50年が経ちました。子供のころからスポーツと音楽、それと大自然が好きでした。自宅は冬季オリンピックジャンプ会場となった大倉山に隣接した三角山登山口に近い山の中腹にあります。

札幌駅から車で15分程のところですが、緑豊かな自然に囲まれ生活しています。今年の札幌は積雪が1mを超える50年ぶりの大雪となりました。3月下旬でも自宅の庭には30cm程の雪が残っています。積雪が多く餌が足りなかったのか庭にはキタキツネの足跡が幾重にも連なっています。毎年の健康診断も特に異常はなく、81歳の今も現役で仕事をしています。今年は新たなスポーツ関連の仕事を始めるところで忙しい毎日を送っています。



キタキツネの足跡

愛知県安城市 ～南吉ピアノ～

＜昭和41年卒 18回E組 加藤(出)奈津子＞

小学4年国語教科書のすべてが「ごんぎつね」を扱っています。作者新美南吉は、昭和18年、30歳を目前に亡くなるまでの4年間で、安城高等女学校（安城高女）の青年教師として、ここ安城に過ごしました。

「講堂にピアノ鳴りやみ秋の薔薇」

南吉の句です。詠まれたのは安城高女の講堂にあったピアノ。時は流れ、民家の納屋で見つかり、平成27年修復「南吉ピアノ」と名づけられました。ロシアのベッカー社製グランドピアノ。ベッカー社はもうありません。このグランドピアノは、どのよ

うな経緯で安城高女に来たのでしょうか。謎のままです。普段はガラスのケースの中ですが、折々の音楽会では物語るような音色を響かせています。



南吉ピアノ

長崎県長崎市 ～桃カステラ～

＜昭和47年卒 24回H組 深井(根本)定子＞

長崎の銘菓といえばカステラですが、春になるとカステラの上にさらにお砂糖で桃が描かれた「桃カステラ」が和菓子屋さんの店先を彩ります。何とも愛らしく、長崎の桃の節句には欠かせません。

お菓子だけでなく、郷土料理の皿うどんや大村寿司も甘めの味付けで、お醤油にも甘口があるほど。長崎とお砂糖にはやはり深い関係がありました。あまり甘くない料理のことを「長崎が遠い」という言葉もあるほどです。出島三番蔵から始まったお砂糖文化。そのお砂糖文化が広まっていった長崎街道を今ではシュガーロードと呼ばれているのをご存知でしたか？



桃カステラ

茨城県筑波研究学園都市

～ロボットと出会う街～

＜昭和50年卒 27回D組 鳥谷 均＞

東京の北東約50kmにあるつくばは研究学園都市です。筑波大学やJAXAとして有名な宇宙航空研究開発機構、産業技術総合研究所そして農業・食品産業技術総合研究機構など29の大学・研究機関があり、新しい知識や技術がたくさん生み出されており、これらは宇宙開発やIT、温暖化を含めた環境問題など多くの分野で利用されています。

温暖化によって将来、お米の生産がどのようになるのか。この様な予測の話を皆さんもお聞きになったことがあるのではないのでしょうか。また、生活に密着する課題を解決するために、街のあちこちで住民参加のもと新しい知識や技術を利用する実証実験を行っているため、つくば市は新しい技術に出会う街になっています。



ロボットと出会う街

カリフォルニア州クロケット ～私の住む町～

＜昭和44年卒 21回E組 Batanides(丸山)悦子＞

East Bay AreaにあるCrockettはサンフランシスコから車で約25分。サンフランシスコとは全く雰囲気が違い、木々が多くBayから入ってくるDeltaの水が見える小さな街です。1906年にCalifornia-Hawaii Sugar Company(C&H S. Co.)ができ、町の90%の人たちがこの会社で働いていたそうです。アメリカのスーパーマーケットに出ている砂糖はこの会社がほとんど作っていたようですが、今ではフロリダでの製造が盛んで、ここでの生産は40%ほどのことです。

アメリカはとにかく広くて車なしでは買い物も不便で、最近では億劫になるとAmazonに頼ってしまいます。Crockettには小さな丘が数多くあり、家々の90%は坂の上に建っています。ほとんどの家にバルコニーがあり素晴らしい景色が見えます。これらの家々はC&H S. Co.設立時以来のもので古いですがそれぞれに味があります。

この辺りにはEast Bay Regional Parks、County ParksやNational Parkが沢山あり自宅から歩いて行けます。車で30分行けばGolden Gate National ParkやMt. Tam、Mt. Diabloなどもありハイキングスポットには事欠きません。自然に恵まれ、毎日のように鹿、狐、コヨーテ、ラクーン、オポッサム、リスなどを見ることができます。マウンテンライオンも出ているようです。このような環境で暮らすことができ、本当に幸せだと思います。



East Bay, CA

会報委員募集

現在の会報委員会メンバーの中では、37回生（55歳）が最年少です。若い世代からの情報を会報に反映させたいと思いますので、フレッシュなメンバーを募集します。

企画・編集・紙面のレイアウトなどにご興味のある方は、井草会ホームページ「会員からの便り」の欄にその旨を記載し送信してください。

会員からの
便り

“脳”や“心”の仕組みを ロボットで探求する



沖縄科学技術大学院大学 教授

たに じゅん
谷 淳さん (29回F)



「幼い頃、言葉が出るのが遅く、心配した親が医者と相談し、IQテストを受検。結果、『平均レベル』と言われホッとした」ーそのことが「脳」への関心の始まりかも、と谷さんは語ってくれました。大学卒業後、一度は大手プラントエンジニアリング会社に就職したものの、あるきっかけで、以前から興味があった脳や心への研究へ進みます。そのきっかけと、研究分野である「認知脳ロボティクス」についてお聞きました。

ー元々会社の技術者だったとお聞きました。

井草卒業後、早稲田大学理工学部に進みましたが、あまり勉強せず大学から始めたウッドベースでジャズの練習ばかりしていました。機械工学科だったので、卒業後は関連した会社に就職しました。

ーそこからどうして研究者の道に進まれたのですか。

会社で技術者をしていたときに、化学プラントで全長20kmにもおよぶ網のような配管で液体を流す検討をしていました。その時、配管の上流で圧力の大きな変化が引き起こした轟音が鳴り響いたんです(注: ウォーターハンマー現象という)。その「圧力波」は配管を通して他の場所に伝搬し、奇妙な音の連鎖となりました。私は面白くなって巨大な配管を自転車で回って音を追いかけてました。私にはそれが「巨大な脳のなかで意識が立ち上がる現場を目撃している」ように感じました。でもそれは複雑ですが物理的な現象です。同じように心、意識についても、その性質について説明できるのではないかと思いつきました。こんなことなどがきっかけで、沸々と前から関心のあった“脳”や“心”について研究してみたいと思うようになりました。そこで会社を退職し、米国・ミシガン大学に留学、帰国後は会社も辞め、さらに研究を深めるためソニーの研究所や理化学研究所にも在籍しました。今の大学に勤める前は韓国の大学でも教鞭をとっていたことがあります。

ーどのような研究をされているのですか。

人間の認知・心のメカニズムについて、ロボット上に再構成することにより、それらの理解を目指す研究を30年近く続けてきました。研究の一例を紹介します。あるものを右から左に移動させようとした場合、脳からのトップダウン予測の指示により腕や手を動かし、それを実行しようとし、その時にその手の動きを誰かが遮ろうとすると、その意に反した感覚が脳にボトムアップされます。その時脳はこの矛盾をなんとか解消しようとして、新しい動きをイメージして実行しようとし、それがうまくいったらそれを再学習します。こうしたことをロボット上に再構成できるような実験を行っています。

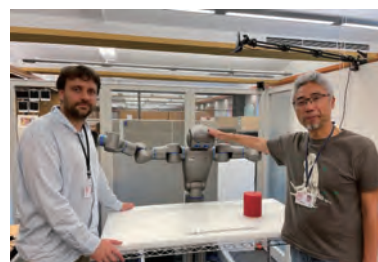
コンピューター上でシミュレーションするのではなく、人間と同じようにロボットの手を使った行動を行わせてその反応について観察します。

人間は五感から様々な情報を得て行動しています。人間の脳や心をロボット上に再構成することで、人間の世界についての理解、学習獲得、他者との相互作用による社会的認知能力の獲得、意識や自由意志のような現象を探っています。分野として脳神経科学、数理科学、心理学、哲学、ロボット工学など幅広い内容です。

目標としているのは4歳児くらいの汎用的な認知能力を伴った「心」をロボット上に再構成することです。ただ、それも短期間では実現は難しいと思います。それほど人間の脳は複雑なのです。

ーどのような研究環境なのですか。

現在、在籍している沖縄科学技術大学院大学はまだ新しい大学です。教員は約80名で8割は外国人です。私の研究室の研究員は12名ほどですが、外国人が多く日常的にもほとんど英語ばかりの生活です。今日のインタビューで久しぶりに日本語を話しました(笑)。



研究室にて研究員とロボットと

ー後輩に伝えたいことをぜひ。

私は高校時代、地味な生徒でした。いわゆる帰宅部で、ジャズ喫茶ばかり通っていました。

よく、若いうちから夢を持ってと言われますが、高校生の年齢で将来の夢を描くのは難しいのではないかと思います。私が今のような仕事をしたいと思ったのは30歳前後からでしたし…その頃上述のきっかけがあり、本当に時間を忘れて、プログラムを作ってロボットを動かして実験するという作業を朝から夜中までやっていました。人間誰でも夢中になれる対象はきっとどこかにあって、それを見つけることができれば、それをやれば良いと思います。

(2022年3月Zoomによるインタビュー)

インタビュー

SDGs の視点で地球科学から 社会課題にも取り組む



北海道大学大学院地球環境科学研究院 教授

やまなか やすひろ
山中 康裕さん (35回 I)

持続可能な開発目標（SDGs）は2015年の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。山中さんは本校を卒業後、東京大学に進学し地球科学を専攻、東京大学気候システム研究センター助手を経て現在は北海道大学教授として活躍しています。大気中の炭酸ガスの増加が地球温暖化に影響することを実証し、2021年ノーベル賞物理学を受賞された眞鍋淑郎氏にも教えを受けたそうです。今、山中さんはSDGsの視点で地球科学から社会課題にもチャレンジを続けています。



ーこれまでどんな研究をされてこられたのですか。

元々気象分野が専門でしたが、人間が排出する炭酸ガスがどのように海洋に吸収されるのか関心を持ちました。海洋のプランクトンから魚までも含めた生物の増殖や行動を数値化して、AIも活用した海洋生態系のシミュレーションなどによる研究をすすめてきました。こうした研究により地球温暖化と水産資源の関係性なども予測できるようになります。

ー東京大学進学、やっぱりすごいですね。

高校時代は生徒会活動や井草祭ではクラスでディスコを企画するなど楽しく過ごし、全然勉強しませんでした。ただ、数学や理科は大好きで、得意でした。英語の定期テストは赤点ギリギリ、高3の5月に受けた全国模試の点数はなんと8点。にもかかわらず「学歴社会」に反抗する気持ちで東大にチャレンジ。2年浪人して合格しました。大学に入学してからは本当によく勉強しました。高校時代から、世の中に出回りはじめたパソコンでよくプログラムを作ったりしていました。当時、大学の計算機センターでは、プリンターからは文字や数字が出力されるだけでした。学部生のとき、大型計算機にあるソフトを活用して、いきなりグラフを出力できるようにしてしまいました。計算機が得意な奴と周囲に思われ、その後、研究や東大助手への就職にもつながりました。

ーノーベル物理学賞を受賞された眞鍋淑郎さんに教えを受け、一緒に研究されたそうですね。

大学院修士課程では先生の論文を全て読みました。その後、私がプリンストン大学に1年間滞在する機会があり、同大学にいらした眞鍋先生に教えを受けました。1997年に科学技術庁の関連で設立された「地球フロンティア研究システム」という気候変動に関する研究所では、眞鍋先生に直々に指名いただき、私はその地球温暖化研究領域傘下のグループリーダーとして参加しました。

ー今、地球科学だけではなく社会課題にも取り組んでいるとお聞きました。

2009年当時の政府によって行われた「事業仕分け」

は科学研究・技術に大きな爪痕を残しました。私が行ってきた研究プロジェクトも数億円研究費が削減、研究者が「夢のある職業」から外れました。私は日本の科学が後退するターニングポイントと感じました。北大教授としての立場で何をしなくてはならないか考えました。そこで社会のために働こうと、社会課題のテーマについても取り組み始めました。

大学教員には自分の知っていること、学んだことを人々に伝えていく責務があります。その責任を果たさないことは「不作為の罪」を犯していることだと思います。私は、自分自身の研究だけでなく、約100人の大学院生を指導してきたことを通じ、「研究という思考の方法」を伝えることが大切だと思っています。そうしたことが、SDGsの考え方「誰一人取り残さない社会」を目指すことに通じると考えています。取り組みの一つとして現在、道内の高校でも授業を受け持ち、SDGsと学ぶことの大切さを生徒の皆さんに伝えています。



高校で授業をする山中さん

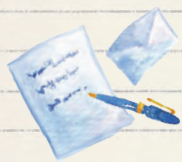
ー現役の井草生に一言お願いします。

世界が激動の時代に入り、今は転換期にきています。例えばiPhoneが発売されて15年。その前と今は違う世界です。高校生の生活は昔と今は全然違うものに教育システムが変わっていないのではないのでしょうか。いい大学に入ればよいという時代ではないと思います。新しい会社を興す、社会に役立つ起業ができる人も増えている。学ぶだけでなく、もっとトライしていいと思う。ただ、今、何をしたいか分からない人はぜひ学んでほしい。今の時代にもし私が若かったら、得意なプログラミングを活かして新しいアプリを作っ

て世の中を変えたいと思います。「好きな努力」をする

るといいと思います。

(2022年3月Zoomによるインタビュー)



恩師からの便り



室岡 和彦 先生

(昭和50年～59年、数学)

山岳部顧問



～室岡の中屋敷便り～

新潟県上越市にある室岡の実家（屋号は中屋敷）は今は空き家ですが、卒業生が訪ねてくれて収穫を手伝い、夜更けまで楽しい時間を過ごしました。昨年11月の時の記録です。

卒業生は、6月の梅の収穫に続き、今回も手伝いに来てくれた。11月下旬は、葉が落ち鳥は食べないのでキウイの収穫の適期で、卒業生4人で75kgものキウイと、食べる分の甘柿を収穫してくれた。今年は柿も大量に実り、早生の渋柿は近所に10kgずつ分けたが、奥手の甘柿は鳥も食べ切れないようだ。カリンもこの時期に実が熟し、幹をゆすると簡単に落ちるが、今年はジャムも作らず捨て置いた。

夕刻、日帰り温泉「ゆったりの里」に行き、スーパー「ナルス」で飲み物その他を買い、19時ごろから宴となった。つまみは糸瓜、柿、梅干し、南瓜、ハツ頭の茎と自家製のものが並ぶ。井草初担任の卒業生はすでに還暦であるが、ここには書けないようなしょうもない話に花が咲き、楽しいひとときであった。

翌朝は、残り物やI君が作ったサラダなど食す。11時ごろまで里芋とハツ頭を収穫した。その後、村の奥に続く栃窪温泉の廃屋、室岡家の山林を見て、上下浜のホテル「ハマナス」に行き、昼食をとった。昼食後「ハマナス」の裏手の海岸でしばらく海を眺めて帰宅した。

朋あり遠方より来たる
また楽しからずや…



キウイ採りのI君



収穫したキウイ



カリンの実を落とすS君



里芋とハツ頭の収穫



宴の3人

井草高校 NOW

現役の井草生の学校生活の様子をお知らせするため、井草高校ツイッター (@tigusahs) から注目のツイートをセレクトしました！(一部原文を修正しています。)

男子バスケットボール部 2021年6月13日

インターハイ予選 4 回戦 試合結果報告

井草41-105早稲田実業

東京都上位チームの壁は厚く、この試合をもって3年生は引退となりました。3年生お疲れ様でした。新チームでは3年生の意思を受け継ぎ、都ベスト32の壁を破るべく覚悟をもって早速明日から練習に励みます。



ソフトテニス部 2021年6月27日

新人大会が行われました。この夏に練習してきたことを試すことができ、新たな課題に気付くことができました。また次の大会に向けて7人で頑張ります!!



演劇部 2021年9月27日

演劇部の地区大会が無事終了しました。練習では苦戦したシーンも、本番の舞台上では難なく演じており…「演劇の魔法」にかかっているなあと思いました。入賞こそ逃しましたが、舞台上で闘い抜いた5名の役者、そして脚本兼音響を担った1名のスタッフ。本当に良く頑張りました。



フットサル部 2021年11月1日

10/31(日)にCOLOカップが開かれ井草高校は2チームが参加しました。雨降りしき中、奮戦しBチームが見事優勝、Aチームが悔しくも4位という結果になりました。また、2年生1人が大会MVPに選ばれ賞品をいただきました。これから少しずつ大会参加や練習試合を増やし更に研鑽していきます!



書道部 2021年11月15日

第34回東京都高等学校文化連盟書道展で、2名が教育委員会賞を受賞しました。来年度、全国大会である、第46回全国高等学校総合文化祭東京大会に両名とも出場することが決定しました。応援ありがとうございます。これからも応援よろしくお願いします!



弓道部 2022年2月12日

東京都遠の大会が行われ、男子団体が準優勝、男子個人第5位、女子個人第4位という結果でした。男子団体は、夏に福岡県で行われる紫灘旗全国高校遠の弓道大会の出場権を獲得です! 応援ありがとうございました。



🌐 ケニアとのオンライン交流 2022年2月18日

水の供給も日本との事情が異なり、SDGsについて考えるきっかけにもなりました。1月末にこちらから送ったプレゼントが届いて喜んでいただきました。文房具や団扇など、使っていただけると嬉しいです。



🌐 ダンス部 2022年3月24日

本日USA Nationals(全国大会)に、1、2年生23名で出場してきました。結果は、新型コロナの影響でオンラインにて発表されるので、後日ご報告します。初めて大きな大会に出場した人もいますが、精一杯演技してきました！今後ともご声援よろしくお願い致します📢



キャンパス ニュース

自主・自由・自律 “igusa 夢 project”

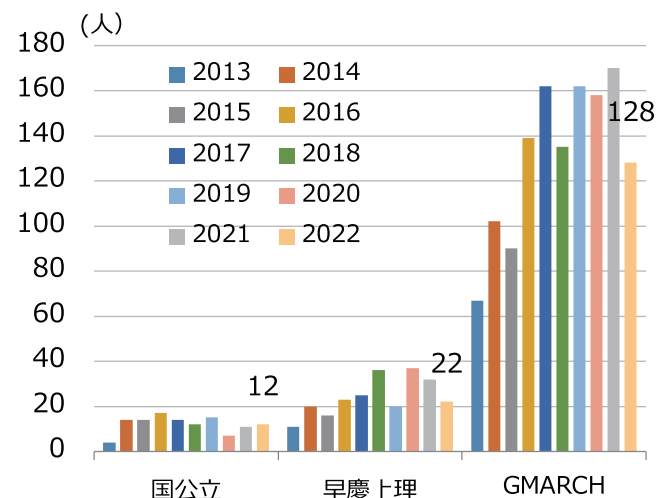
井草高校 進路指導部 武藤 亮

井草会の皆様、いつも応援ありがとうございます。高校の先の、さらにその先を見据えた井草高校の進路指導、「igusa夢project」も16年目を迎えました。ほとんどの生徒が大学進学を希望する中、井草高校は単なる進学指導ではなく、ホンモノの進路指導を行っています。

コロナ下3年目となった2022年入試ですが、井草生は大きなトラブルもなく終了しました。国公立大や難関私大にチャレンジする生徒も増え、多くの生徒が希望の進路を実現しています（進学状況の詳細はHPをご覧ください）。

自主・自由・自律を旗印に、「igusa夢project」はさらに進化していきます。卒業して10年後、28歳の自分をイメージできる進路指導、これからも井草高校の進路指導に期待してください。

■10年間の合格者推移(現役・浪人合計)



■2022年合格状況(既卒者、推薦入学を含む合格者数)

国立大学		跡見学園女子	6	十文字学園女子	1	大正	1	東京国際	1	文京学院	2
茨城	1	大阪音楽	1	順天堂	4	大東文化	6	東京女子	7	法政	35
宇都宮	1	大妻女子	2	城西国際	1	高千穂	1	東京造形	2	武蔵	18
信州	1	学習院	9	上智	1	拓殖	7	東京電機	9	武蔵野	14
千葉	1	学習院女子	1	尚美学園	2	玉川	7	東京都市	2	武蔵野美術	10
東京外国語	1	神奈川	3	iU	3	多摩	1	東京農業	17	明治	28
東京海洋	1	共立女子	4	昭和	3	多摩美術	7	TPU	1	明治学院	15
東京学芸	1	杏林	6	昭和女子	12	千葉工業	5	東京理科	7	明治薬科	3
富山	1	国立音楽	1	昭和薬科	2	中央	19	東邦	1	明星	7
公立大学		慶応義塾	3	女子栄養	6	津田塾	6	東洋	64	目白	7
都留文科	1	恵泉女学園	1	白百合女子	1	帝京	14	獨協	9	横浜薬科	1
東京都立	2	工学院	2	杉野服飾	1	帝京平成	6	二松学舎	4	立教	15
宮崎県立看護	1	國學院	12	成蹊	18	東海	5	日本	61	立命館	4
文科省所管外の大学校		国士館	5	成城	8	東京医療保健	2	日本工業	1	早稲田	11
防衛	1	駒澤	16	聖心女子	3	東京家政	8	日本女子	6		
私立大学		産業能率	3	清泉女子	2	東京経済	6	日本体育	1		
青山学院	22	実践女子	2	専修	11	東京工科	5	日本薬科	1		
亜細亜	14	芝浦工業	14	創価	4	東京工芸	4	文化学園	2		

※ iU：情報経営イノベーション専門職大学 TPU：東京保健医療専門職大学

2022年度定時幹事総会報告

今年度の定時幹事総会も、コロナウイルス感染拡大のため、昨年度に引き続きメールまたは郵送にて決議を行う書面開催となりました。

メールまたは葉書による開催通知の返信で出席を表明された幹事の方々 50名（＋委任状279名）により幹事総会の必要定足数50名を満たし、5月31日（火）の総会が成立しました。

事前に送付された議案書に基づいて、2021年度の各委員会事業報告・決算報告・監査報告に続き、2022年度の事業計画案・予算案が審議され、議事はいずれも議決権行使者の賛成多数で承認可決となりました。

今後の同窓会活動については、随時対応を検討し工夫を重ねながら取り組んでいきますので、会員の皆さまのご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

2022／2023年度 役員・理事名簿

会 長	植 木 謙 21D ○
副会長	宇都木 夏 也 37C ○
	鎌 形 香代子 27F ○
会 計	町 田 秀 彦 27F ○
(補佐)	鎌 形 香代子 27F
監 事	遠 矢 良 隆 6A ○
	久 米 浩 一 26D ○
事務局	中 村 啓 子 18E ○
	鎌 形 香代子 27F
	中 井 淑 子 7C ○
	瀬戸山 邦二郎 15D
	本 田 英 俊 16B
	磯 邊 文 雄 18B ○
	安 田 忠 21G
	日 野 純 子 24H
	採 田 邦 子 29F
	伊集院 直 子 30B
インターネット	宇都木 夏 也 37C
	林 有紀子 37B ○
	難 波 俊 樹 37G ○

会 報	植 木 謙 21D
	日 野 純 子 24H ○
	中 井 淑 子 7C
	西 田 實 17B ○
	中 村 啓 子 18E
	町 田 秀 彦 27F
	新 妻 成 一 35F
	宮 崎 博 美 37B
	高 橋 一 介 37B
同窓会	田 村 光 孝 31E ○
	中 村 啓 子 18E
	安 田 忠 21G
	田 中 信 雄 29B
	五十嵐 恵理子 31B
	幡 野 佐 34I ○
	日 下 智 博 37D ○
	難 波 俊 樹 37G
	西 野 幸 一 38B

○印は常任理事会参加メンバー
※重複は省略

2021年度決算・2022年度予算

収 入 2022年3月31日現在（単位：円）

項 目	2021年度予算	2021年度決算	2022年度予算
繰 越 金	2,819,728	2,819,728	3,810,145
入 会 金	892,000	892,000	960,000
会 費 収 入	2,800,000	2,725,780	2,800,000
寄 付 収 入	500,000	680,696	600,000
同 窓 会 参 加 費	0	0	0
雑 収 入	5,000	23,218	0
計	7,016,728	7,141,422	8,170,145

支 出

項 目	2021年度予算	2021年度決算	2022年度予算
会 報 委 員 会	2,950,000	2,731,613	2,950,000
会 報 通 信 費	1,270,000	1,144,236	1,270,000
会 報 印 刷 費	650,000	581,944	650,000
そ の 他	930,000	993,533	930,000
委 員 会 活 動 費	100,000	11,900	100,000
同 窓 会 委 員 会	450,000	0	500,000
クラス会等援助金	400,000	0	400,000
委 員 会 活 動 費	50,000	0	100,000
同窓会開催費用	0	0	0
同窓会費振込手数料	0	0	0
広 報 委 員 会	70,000	0	0
インターネット委員会	100,000	7,856	100,000
事 務 局	1,170,880	588,808	900,880
活 動 費	600,000	267,195	300,000
井草高校助成金	300,000	80,440	300,000
年会費振込手数料	270,000	240,293	300,000
入金会振込手数料	880	880	880
会 計	20,000	3,000	10,000
予 備 費	2,255,848	0	100,000
からまつ山荘閉荘資金	0	0	800,000
支 出 合 計		3,331,277	5,360,880
次 年 度 繰 越 金		3,810,145	2,809,265
計	7,016,728	7,141,422	8,170,145

財 産 目 録

（2022年5月31日現在） 単位：円

特別資金	15,500,000
（事務所開設準備金の科目名変更実施）	
母校支援特別資金	800,000
（からまつ山荘閉荘資金） 2021年度繰越金から資産計上に振替	
資産計上計	16,300,000



井草会掲示板

■ 年会費・寄付の納入方法

井草会は会員の方々の年会費（2,000円）で運営しています。同封の払込用紙以外でも納入できます。年会費以外に寄付も受け付けておりますので、ご協力をお願いします。

◆スマートフォンアプリからも払い込みできるようになりました。決済額はコンビニ払い同様、払込用紙に印字されている金額のみのお支払いとなります。

詳しくは払込用紙をご覧ください。

◆払込用紙での納入（郵便局） ※コンビニも可

井草会報に同封の払込用紙では郵便振替とコンビニエンスストアでの払い込みができ、いずれも払込手数料は不要です。ただし、2022年1月17日より、郵便局窓口で現金を払い込む場合は110円の加算料金が必要となっていますのでご注意ください。ゆうちょ銀行のキャッシュカードまたは通帳払いですと加算料金は不要です。

◆郵便振替

東京00120-4-84359 井草会

◆一般金融機関から振り込み（ネットバンク使用可）

一般の金融機関、ネットバンク等から振り込まれる場合は下記の口座をお願いします。振込手数料はご負担ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
店名	〇一九店（ゼロイチキユウ店）
口座種目	当座
口座番号	0084359
口座名	イグサカイ
年会費	2,000円 ※2,000円を超えた金額は寄付
振込（依頼）人名	卒回または卒年 組 氏名（旧姓）
※例：38C イグサハナコ（ヤマダ） 1986C イグサハナコ（ヤマダ）	

◆寄付・その他

井草会報に同封の年会費払込用紙の金額を修正して郵便振替、または一般金融機関から振り込みができます。ただしコンビニエンスストアでの寄付納入はできませんのでご注意ください。

恩師の訃報

桑畑 昌典 先生（昭和38～61年、国語）
令和3年7月4日逝去



編集後記

今回もコロナ禍での会報作成作業となりましたが、ズームによるOB/OGインタビューを始めとして、会員の皆様のご協力で紙面をまとめることができ、改めて同窓の絆を実感いたしました。ありがとうございました！

■ 2021年度一般寄付金寄付者名簿

2022年3月31日現在

下記の方々から貴重なご寄付をいただきました。有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

高女1	津田 敏子	10	高校23	重松 明夫	1
高校4	河上 喜美江	3	高校25	中条 啓一郎	8
	高瀬 信子	10	高校26	杉野 俊哉	1
高校5	大西 久江	3		金子 守	1
高校6	中野 郭子	8		大谷 哲	3
高校7	渡辺 きさ子	8		馬場 忠	30
	榎本 昌子	3		岡田 雄一郎	3
高校8	小林 蕙子	3		五十嵐 宏	1
	前島 一夫	8		吉野 佳世	10
高校9	渡辺 正義	3	高校27	仰木 明志	3
	木村 忠正	8		青木 清	8
高校11	小泉 博文	48		町田 秀彦	50
	坂本 輝子	3		竹村 京子	3
高校12	中林 保彦	3	高校28	長崎 正彦	1
	松本 征紀	3	高校29	塚田 則彦	10
	砂川 圭子	8	高校30	吉沢 顕	8
	尾崎 政雄	3		青木 章	1
	長沢 容子	1		石田 真樹	3
	細野 恭代	3		大場 肇	3
高校13	富岡 和子	8		古江 英美	3
高校14	木村 利行	8		伊集院 直子	1
	林 健一	5		辻田 洋一	3
	松本 洋子	3	高校31	滝川 直	10
高校15	小野 節子	3		藤野 哲也	1
	川添 洋子	3		藤吉 和彦	1
	三井 康子	3		阿部 恵	1
	堺 公子	3		佐藤 瑞枝	2
	堀井 吉彦	3	高校32	藤川 由美	1
	今井 千恵子	3		小原 健嗣	3
高校16	小島 弘	2		林 亮太	10
高校17	石井 次子	10		國分 健児	18
	牛込 仁士	6		松浦 昭浩	3
	滝沢 政代	3	高校33	中村 一郎	3
高校18	郡司 明郎	8		安達 亜紀	10
	貴志 長成	3		小菅 慎一	3
故	藤本 道子	2		五味 祐一	3
	千葉 優子	3	高校34	高野 郁人	1
高校19	川勝 文雄	3		島田 隆司	3
	穴戸 文男	3	高校35	夏野 剛	10
	篠塚 明	10		石塚 由記子	3
	佐中 達郎	3	高校37	市原 毅	8
	粕谷 巧	5	高校38	那須 久美子	8
	高橋 勉	3		相田 智成	3
高校20	野崎 暁	3	高校39	川寄 孝	10
	田中 英明	3	高校40	真野 佳澄	3
	石川 和重	3		満川 元貞	1
	出井 喜一	8	高校41	匿名 希望	4
	尾崎 初	8		岡澤 周子	3
高校21	片桐 隆	30		吉浦 和孝	1
	遊佐 暁彦	3	高校47	宮川 伸一	8
	植木 謙	8		中島 浩樹	3
	井口 政幸	3	高校49	米川 輝	1
	宮本 静代	10	高校51	葛城 英彦	3
高校22	戸倉 賢二	3	高校73	關根 悠里子	10
	平田 英二	2			
高校23	松崎 章	8			
	山下 昭夫	5			
	守村 卓	10			
	田中 隆枝	3			

（敬称略、単位：千円）
寄付者数：113名
665,000円

井草会事務局

〒177-0044 練馬区上石神井2-2-43 井草高校内
ホームページ：https://www.igusakai.org

※お問合せはホームページから、または郵便でお願いいたします。